

文10 それを見て、ある人①の②いはく、「かきづばたといふ五文字を句の上に③据ゑて、旅の心をよめ。」と言ひけれ④ば、よめ⑥る。

問一 傍線部① 「の」の訳は？
ア の イ が

問二 傍線部② 「いはく」の訳は？

ア 言うには イ思うに ウ博士

問三 傍線部③の終止形は「据う」で、「ず」をつけると「据ゑず」となり、「ず」の上がエ段になるので、下二段活用であるが、何行下二段活用であるか。

コキエア ア行
タ行 タ行
マ行 マ行
ワ行 クオイ
ヤ行 ナ行
ケカウ カ行
ラ行 ハ行
サ行 ラ行

文10 それを見て、ある人①の②いは
く、「かきつばたといふ五文字
を句の上に③据ゑて、旅の心を
よめ。」と言ひ④けれ⑤ば、よ
め⑥る。

問四

傍線部④は過去の助動詞で、
終止形は「けり」である。こ
こでは何形になつているか。
なお、「けり」はラ変型で、
「けら〇けり〇ける〇けれ
ー〇」と活用する。

ア 未然 イ 連用 ウ 終止 エ 連体
オ 已然 力命令

文10 それを見て、ある人①の②いは
く、「かきづばたといふ五文字
を句の上に③据ゑて、旅の心を
よめ。」と言ひ④けれ⑤ば、よ
め⑥る。

問五 傍線部⑤の「ば」は次の三つ
の訳を持つ。この場合はど
れ？

アもしうならば

※未然形 + 「ば」

いうので

※已然形 + 「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、
「ば」の下の出来事が起こった。

ウうすると・うしたところ

※已然形 + 「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、
「ば」の下の出来事が

たまたまが起こった。

文10それを見て、ある人①の②いは
く、「かきづばたといふ五文字
を句の上に③据ゑて、旅の心を
よめ。」と言ひ④けれ⑤ば、よ
め⑥る。

問六 傍線部⑥の終止形は「り」で
完了の助動詞「たり」と同様、
次の二つの意味を持つ。ここ
ではどちらの意味で使われて
いるか。。

ア 完了(～してしまつた・～た)

※の瞬間に注目

イ 存続(～ている・～てある)

※の後の状態に注目

Q 文末なのに連体形の「る」になつ
ているのはなぜか?

A 「…よめる

歌

。」と書く

べきところなのに「歌」を省略し
て書いてしまつたため。(名詞は
消えてしまつたが、連体形という
形だけ残つた。)

このページは空白ページです